

イヌワシの生息適地と目標つがい数を確保する上で重要な地域

1. 目的

全体目標決定によりイヌワシの生息数増加につながる取組みが全国で行われることを促す際に重要となる地域を抽出することを目的とする。

2. 重要地域の抽出の考え方

全体目標が策定されることによって、イヌワシの生息数増加につながる取組みが全国で行われることを促す必要がある。その際に重要となる地域を抽出することを目的として以下の作業を行った。重要地域の抽出に際しては、シマフクロウ生息地拡大に向けた環境整備計画で作成された「シマフクロウの生息適地及び生息地の連続性と目標つがい数を確保する上で重要な地域」を参考とした。

重要地域の作成手順は以下のとおりとした。

1. 生息適地解析で生息確率が高かった（ランク 4 及び 5）メッシュ、1つがいあたり必要な開放地面積および広葉樹林面積を増やした場合にランクがアップしたメッシュをまとめて 1 つのポリゴンとした（図 1 a・b）。
2. 1 で作成したポリゴンを平滑化処理し、ポリゴンの枠線を滑らかにした（図 1 c）。
3. 2 で作成したポリゴンが 1 で抽出したメッシュの範囲を全て含むようにバッファを発生させ（図 1 d）、境界部をぼやかすことで重要地域候補とした。
4. 3 で作成した重要地域候補のうち、保全を進めるにあたり場所が適切でない（都市部など）場合、対象となる地域が小さなポリゴンが点在する場所の場合については、それらを考慮して削除したうえで、その他の凡例※1 と共に図化した。

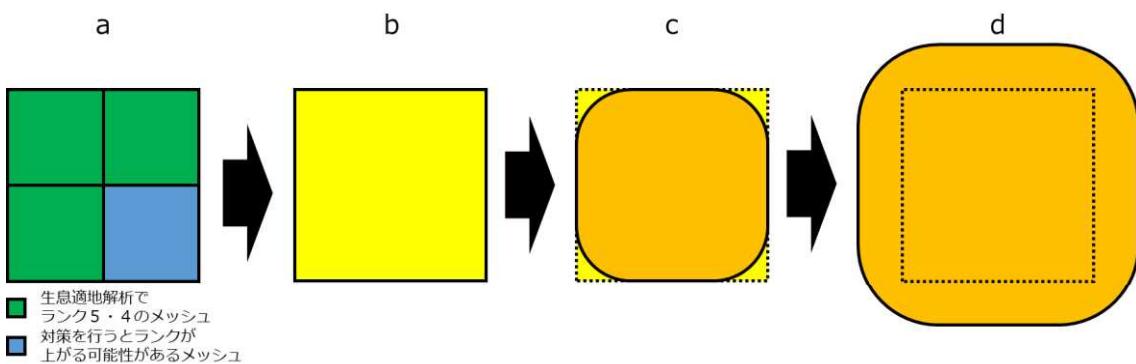


図 1 重要地域候補作成のイメージ

※1 その他の凡例について

- ・生息適地解析の結果、生息確率がカットオフ値（0.25）を超えるメッシュを生息適地とし黄色のメッシュで示した。
- ・5km メッシュ面積の 50%以上を建物用地面積が占める場合を都市部とし灰色のメッシュで示した。
- ・抽出した重要地域を桃色のポリゴンで示した。

以上の設定で作成した図 2 に示した。

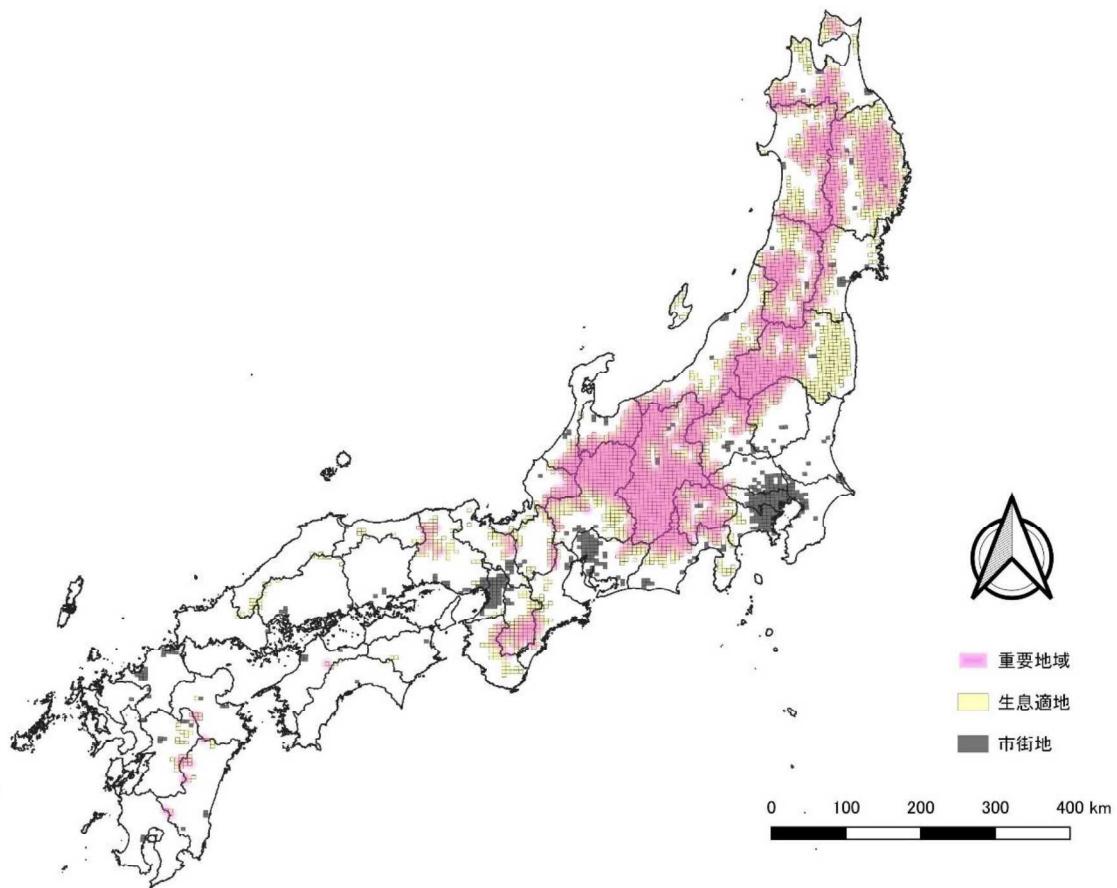


図 2 イヌワシの生息適地と目標つがい数を確保する上で重要な地域

※北海道については、環境が他地域と大きく異なることから生息適地解析の対象外としたため、重要地域の抽出に関しても対象外とした。